

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	広陵町家庭教育支援チーム (呼称:特定非営利活動法人 家族・子育てを応援する会) URL: https://m.facebook.com/kazokukosodate/ (Facebook)
②活動拠点	広陵町内公共施設等
③活動範囲	広陵町及び近隣地域
④組織体制	13 人 保育士3人、助産師 1 人、特別支援コーディネーター1 人、中学校教員 1 人、大学講師 1 人、動物愛護活動家 1 人、元保育園園長 1 人、元教員 2 人、元幼稚園教諭1人、地域支援センター職員1人
⑤活動開始年度	2016 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 特定非営利活動法人 家族・子育てを応援する会事務局 新谷 眞貴子 (TEL)050-3136-6268 (E-mail) koryo.kosodate@gmail.com

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) ↳ <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他(個別の相談対応)
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学んだり、楽しんだり、交流したり、相談したりする親子の居場所として、乳幼児の親子広場「子育ておしゃべり会」と0歳児の親子広場「ゼロのわくわくプログラム」を、毎月各1回広陵町内の施設等で開催する。 2. 親子広場の様子や親の思いをメールや Facebook で発信する。 3. 多世代の地域の方々が参加し、「子ども・子育て・家族」について考える講演会・展示会を開催する。また、対人援助職者対象の家族理解ワークショップも開催する。 4. 社会全体の状況の変化に応じて、さまざまな事情を抱えた子育ての相談に、対面式・メール・電話・オンライン等で個別に対応する。 5. 行政・専門機関・他団体と連携を取って、支援が必要な家庭に寄り添う。 6. 「子育てしやすいまち」について、行政と保護者が意見交換し共に考える場を設定する。
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★文部科学省補助事業を実施(2019年度)。 ★地域における家庭教育支援基盤構築事業を実施(2019年度～2021年度)。 ★報告書「子どもに関する課題を解決するための大人の学びを創造する社会教育の在り方」(平成30年5月、奈良県社会教育委員会議)に本会の活動が掲載。 ★「広陵町協働のまちづくり提案事業」を実施(2019年9月～2020年3月)。 ★「子育てフォーラム in 広陵」を主催し、地域から様々な立場の多世代の143人が参加し、子育てについて考え交流(2019.5.26)。 ★「奈良県地域貢献サポート基金助成事業」を実施(2020年度)。 ★奈良県家庭教育支援セミナーにおいて、「地域で子育てを共に応援すること」について実践発表(2021.1.27、奈良県立教育研究所)。 ★「広陵町」・「広陵町教育委員会」の後援で活動(2021年度～2024年度)。 ★「女性活躍推進交付金事業」として、広陵町が進める協働のまちづくり事業として広陵町の委託を受けて、楽しい親子イベントと家事・育児のワークショップを開催(2022年度～2024年度)。 ★「令和3年度『家庭教育支援チーム』の活動の推進に係る文部科学大臣表彰」を受賞(2022.2.4)。 <p>・乳幼児の親子広場や乳児の親子広場を定期的に開催した。参加者は、ゆったりできる空間でさまざまなプログラムを親子や参加者と楽しみ、子育ての悩みや不安などを参加者同士で交流し、専門職のスタッフに相談して、「親も子ども穏やかな時間を過ごしました」、「同じ悩みを持つ方と会えて共感できました」等の感想があった。2016年度～現在までで、のべ約1700組、4300人の親子の参加があった。</p>

	<p>・地域の皆さんと共に「子ども・子育て・家族を応援する」イベントやワークショップをコロナ禍以外毎年開催し、これまでにのべ約 2200 人の多世代の来場者があり、さまざまな思いを残してくださった。</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (賛助会員会費・寄附・カンパ・私的な助成金)</p>